基本構想に関する住民説明会開催結果

	地区	開催日時	開催場所	参加者数
1	一宮	10 月 23 日(月) 18 時 30 分～	農業者トレーニングセンター	28 名
2	音羽	10 月 24 日(火) 18 時 30 分～	音羽生涯学習センター	25 名
3	御津	10 月 26 日(木) 18 時 30 分～	御津生涯学習センター	29 名
4	小坂井	10 月 27 日(金) 18 時 30 分～	小坂井生涯学習センター	38 名
5	豊川	10 月 28 日(土) 13 時 30 分～	豊川市勤労福祉会館	23 名
			合計	143 名

（説明会の様子）

（主な意見）

主な意見・質問	回答
整備プラン案の C 案の場合について、スケジュールや建替期間中のイメージ、業務継続など、どのように考えているか。	C 案の場合、業務を継続するために仮設庁舎が必要になる。あるいは、本庁舎の一部を壊して空いたところに新たに庁舎を建てることも考えられる。工期は1期、2期、3期、4期と長くなることが考えられる。基本計画で検討し、掛かる費用や期間もお知らせしていく。
借金は何年間で返済していく計画か。15年程度になるのか。	庁舎という区分の上限は 25 年となるが、その当時の財政状況等を踏まえ、財政部局と相談し、無理のないよう適切な借入期間を設定していく。
整備にあたっては、駐車場の松を切る想定なのか。	残すものと切るもの、残すべきゾーンなどについて、検討を進めていく。
聴覚障害者への対応として文字放送や電光掲示板など、文字でわかる対応をしてほしい。	方針2で「誰もが使いやすい開かれた庁舎」を掲げている。基本計画や設計の段階において、詳細な検討を進めていく。
ZEB の意味が解らない。説明してほしい。	ZEB というのはゼロエネルギービルディングといい、建物の消費エネルギーを抑えるための考え方である。太陽光発電などエネルギーを創ることも方策の1つである。
北庁舎の長寿命化によって、どの程度寿命は延びるのか。	北庁舎は長寿命化改修を行い、予防保全を行うことで最大 80 年の建物の長寿命化を目指している。
新庁舎の目標面積12,000 ㎡のなかに、北庁舎も含まれているのか。	基本構想の本編に記載をしていますが、国の算定基準で試算したものから北庁舎と防災センターの面積を除いたものとして新本庁舎の必要面積を算出しており、11,000 ㎡から 16,000 ㎡程度と試算している。
将来の行政需要増加の可能性や豊川市の人口規模でみると、桐生市などの事例と比べて、12,000 ㎡は控えめな数字ではないか。	